

大学技術移転、1996年からの18年間で米国産業に1兆1,800億ドル貢献（3月17日）

バイオテクノロジー産業協会（Biotechnology Industry Organization : BIO）は3月17日、1996年～2013年に大学技術移転が米国経済に与えた影響についてまとめた報告書「米国における大学・非営利団体での発明による経済的貢献 ～1996～2013年～（The Economic Contribution of University/Nonprofit Inventions in the United States : 1996-2013）」を発表した。本報告書は、大学技術管理者協会（Association of University Technology Managers : AUTM）による1996年～2013年の18年間の調査結果を分析したものである。これによると、大学・病院・研究機関などといった学術機関による特許ライセンスが、米国の産業総生産を18年間で最高1兆1,800億ドル増加させた他、国内総生産を5,180億ドル増加させ、382万4,000人の職業を支援していることが明らかにされた。

なお、本報告書は、

<https://www.bio.org/sites/default/files/BIO_2015_Update_of_I-O_Eco_Imp.pdf>
からダウンロード可能。

Biotechnology Industry Organization, Academic-Industry Patent Licensing
Contributed Up to \$1.18 Trillion to U.S. Economy Since 1996

<https://www.bio.org/articles/Value-of-Academic-Industry-Patents>